

# FY2024 3Q 決算概況資料 Summary of Financial Results

February 14, 2025

東証プライム市場上場 証券コード :8253

Tokyo Stock Exchange Prime Market, Securities Code: 8253

# 01. FY2024 3Q 決算概要 Financial Results Summary

新中期経営計画初年度は好調な推移 “本業の稼ぐ力”も着実に向上  
次年度以降の成長に向けて弾み

## 3Q決算は増収増益 ※セグメント別トピックはP.7参照

- ✓ 成長の柱となる3事業（グローバル事業・ペイメント事業・ファイナンス事業）に加え、不動産関連事業が全体を牽引
- ✓ 特殊要因（コロナ禍に将来の延滞債権等の増加に備えて計上した特別引当金の取崩し）が利益の押し上げに寄与 ※特別引当金の取崩し（68億円）除く、連結事業利益730億円
- ✓ 新中期経営計画では、安定的かつ継続的な配当方針を堅持しつつ、配当性向は30%以上とする方針に基づき、直近の期末配当予想から普通配当を5円増配し、期末配当金を1株当たり110円とする予定

## 通期業績予想（2024年11月修正）は据え置く

新中期経営計画を達成するべく、FY24/4Qにおいて以下施策の実施・検討があることから、一部先行き不透明な状況も勘案して通期業績予想は据え置く

- ✓ 低成長かつ低採算な事業に関する見直し
- ✓ 将来収益獲得に向けたプロモーションコストの投入
- ✓ 債権リスクの将来懸念への対応

# 決算サマリー

## Financial Summary

CREDIT SAISON

(億円/¥100 Million)

	FY23 3Q	FY24 3Q	前年比 YOY	FY24計画(期初) Plan(Initial)	FY24計画(修正)* Plan(Revised)	進捗率 Progress rate	
	純収益 Net revenue	2,687	3,134	116.6%	4,130	4,160	75.3%
連結 Consolidated	事業利益 Business profit	614	799	130.0%	770	800	99.9%
	四半期利益 Profit attributable to owners of parent	620	576	92.8%	520	550	104.7%
	営業収益 Operating revenue	2,121	2,291	108.0%	3,030	3,060	74.9%
単体 Non-consolidated	営業利益 Operating profit	322	392	121.7%	425	435	90.3%
	経常利益 Ordinary profit	404	468	115.6%	480	500	93.6%
	四半期純利益 Profit	317	476	149.8%	340	470	101.4%

\*2024年11月修正計画/Revised plan for November 2024

# セグメント別業績概況

## Overview of Business Results by Segment

CREDIT SAISON

(億円/¥100 Million)

純収益 Net revenue	FY23 3Q	FY24 3Q	前年比 YOY	FY24計画(期初) Plan(Initial)	FY24計画(修正) <sup>*1</sup> Plan(Revised)	進捗率 Progress rate
ペイメント Payment	1,760	1,888	107.3%	2,499	2,529	74.7%
リース Lease	93	98	106.2%	135	135	73.3%
ファイナンス Finance	437	505	115.4%	633	633	79.8%
不動産関連 Real estate related	183	244	133.7%	260	260	94.1%
グローバル Global	180	364	201.8%	513	493	74.0%
エンタテインメント Entertainment	48	48	101.8%	67	67	73.0%
計 Total	2,703	3,151	116.6%	—	—	—
セグメント間取引 Intersegment transactions	△15	△17	—	—	—	—
連結 Consolidated	2,687	3,134	116.6%	4,130 <sup>*2</sup>	4,160 <sup>*3</sup>	75.3%

(<sup>\*1</sup>) 2024年11月修正計画/Revised plan for November 2024 (<sup>\*2</sup>) 金融収益23億円含む/Includes 2.3 billion yen in financial revenue (<sup>\*3</sup>) 金融収益43億円含む/Includes 4.3 billion yen in financial revenue

# セグメント別業績概況

## Overview of Business Results by Segment

CREDIT SAISON

(億円/¥100 Million)

事業利益 Business Profit	FY23 3Q	FY24 3Q	前年比 YOY	FY24計画(期初) Plan(Initial)	FY24計画(修正)*1 Plan(Revised)	進捗率 Progress rate
ペイメント Payment	190	270	141.6%	205	275	98.3%
リース Lease	35	33	96.0%	40	40	84.9%
ファイナンス Finance	213	289	135.4%	315	315	91.9%
不動産関連 Real estate related	141	162	114.7%	130	130	125.0%
グローバル Global	10	35	330.0%	68	28	125.5%
エンタテインメント Entertainment	13	11	84.2%	12	12	94.2%
計 Total	605	802	132.5%	—	—	—
セグメント間取引 Intersegment transactions	9	△3	—	—	—	—
連結 Consolidated	614	799	130.0%	770 <sup>*2</sup>	800 <sup>*2</sup>	99.9%

(\*1)2024年11月修正計画/Revised plan for November 2024 (\*2)セグメント間取引を含む/Includes intersegment transactions

# セグメント別トピック

## ペイメント

- ・プレミアム戦略推進による顧客層の変化によりショッピング取扱高が伸長
- ・ショッピング増枠やUIUX改善等によりショッピングリボ残高が拡大、リボ手数料率引き上げ影響により増収増益
- ・特殊要因（特別引当金の取崩し）も増益に寄与

## リース

- ・既存主力販売店への営業活動強化による増収の一方、貸倒コスト増加等により減益

## ファイナンス

- ・スルガ銀行やセゾンファンデックスとのグループビジネス拡大
- ・クレディセゾンの不動産ファイナンス関連商品の拡充や、新規提携先との関係強化、金利変動商品の影響により増収増益

## 不動産関連

- ・セゾンリアルティにおける保有不動産の売却が想定を上回り増収増益

## グローバル

- ・Credit Saison Indiaにおけるレンディング事業の拡大
- ・上期決算に引き続きベトナムHD SAISONの事業利益貢献により増収増益

## エンタテインメント

- ・新店舗オープンに伴う費用影響により増収減益

# 連結会社の貢献状況

CREDIT SAISON

## ■事業利益 連単差

(単位：億円)

	連結	事業利益	単体	経常利益	連単差
FY24-3Q		799.3		468.1	331.2
(前年差)		184.3		63.2	121.1

## ■連結会社の貢献状況

(単位：億円)

		事業利益 貢献	前年差	事業内容
主な 連結子会社	セゾンリアルティグループ	106.8	+12.5	総合不動産事業
	(株)セゾンファンデックス	95.4	+22.3	不動産金融事業・信用保証事業・個人向け融資事業
	Kisetsu Saison Finance(India)Pvt. Ltd.	40.0	+23.6	インドにおけるデジタルレンディング事業
	セゾン投信(株)	11.2	+2.9	投資信託の設定、運用ならびに販売
主な持分法 適用関連会社	スルガ銀行(株)	42.5	+26.4	銀行業
	HD SAISON Finance Co., Ltd.	23.2	+21.4	ベトナムにおけるリテールファイナンス事業
	(株)セブンCSカードサービス	8.7	+0.1	クレジットカード事業
	高島屋ファイナンシャル・パートナーズ(株)	8.4	+0.9	クレジットカード事業、保険・投資信託・信託事業



## 24年5月新中計での公表内容

### 自己株式取得実施

新中計期間中（FY24-26）に  
700億円を目途に取得を計画  
（FY24に内500億円を実施）

### 政策保有株式縮減

新中計期間中（FY24-26）に  
70%相当を縮減

## 進捗

### 取得した自己株式の累計

- (1) 株式の取得価額の総額 36,984,890,005円（進捗率74.0%）
  - (2) 取得した株式の総数 10,920,600株（進捗率43.7%）
- ※2025年1月31日現在（適時開示ベース）

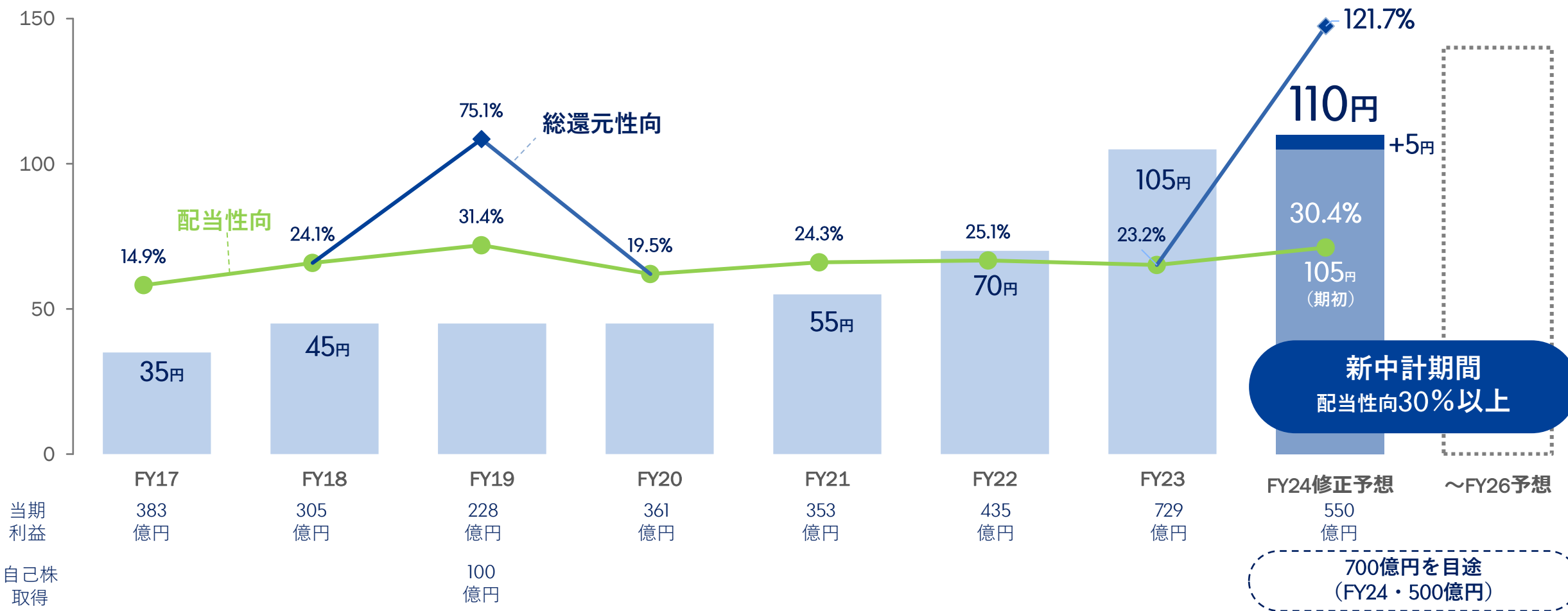
### 売却の内容

- (1) 売却株式 当社保有の上場有価証券 5銘柄 等
  - (2) 投資有価証券売却益 約173億円（進捗率54.3%）
- ※連結決算においては、その他の包括利益として会計処理されるため、  
親会社の所有者に帰属する当期利益に与える影響はありません。  
※2024年12月31日現在

# 株主還元

- ✓ 新中期経営計画（FY24-26）では安定的かつ継続的な配当方針を堅持しつつ、配当性向は30%以上とする方針
- ✓ 方針に基づき、直近の期末配当予想から普通配当を5円増配し、期末配当金を1株当たり110円とする予定

(1株配当金:円)



## 02. 主要事業の概況

# Overview of Major Businesses

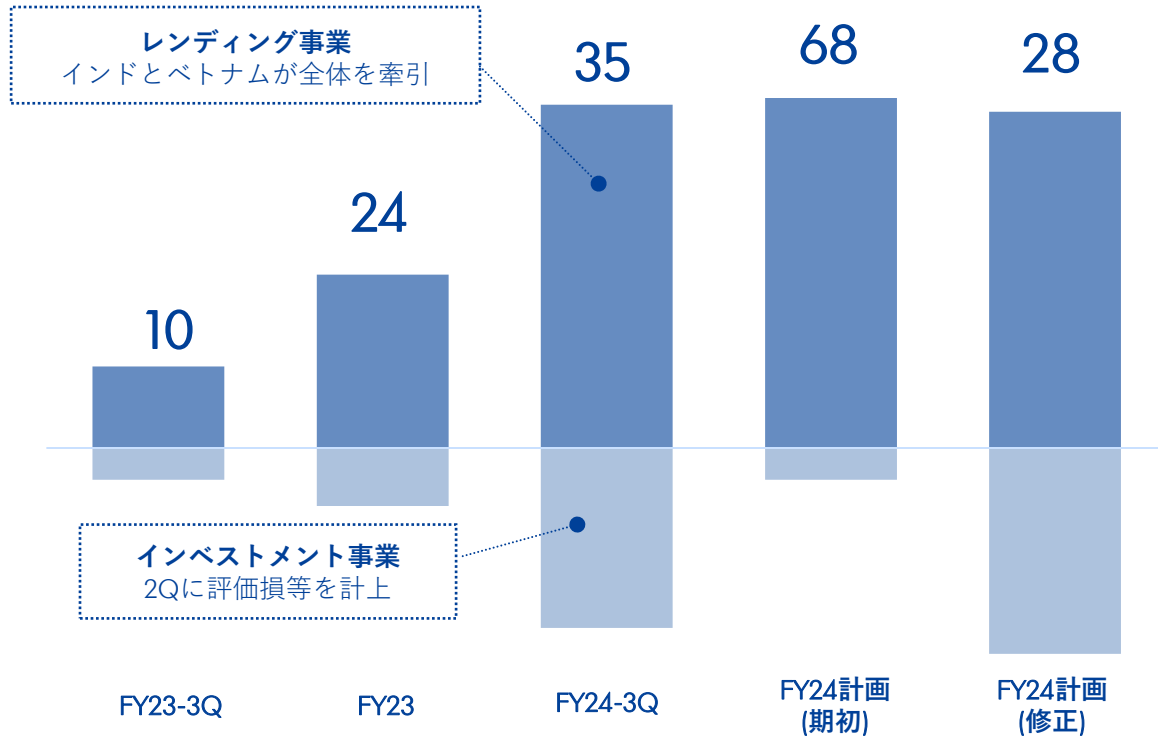
# グローバル事業 主要指標

新中期経営計画・重点テーマ

インド事業の拡大とグローバル展開の進化

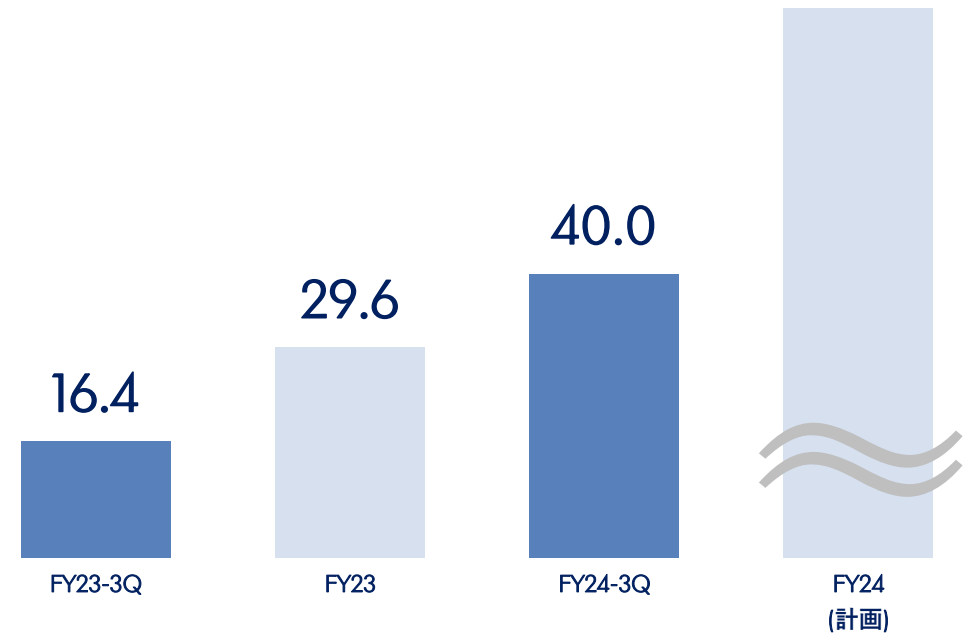
## ■セグメント事業利益

(億円)



## ■Credit Saison India 事業利益貢献

(億円)



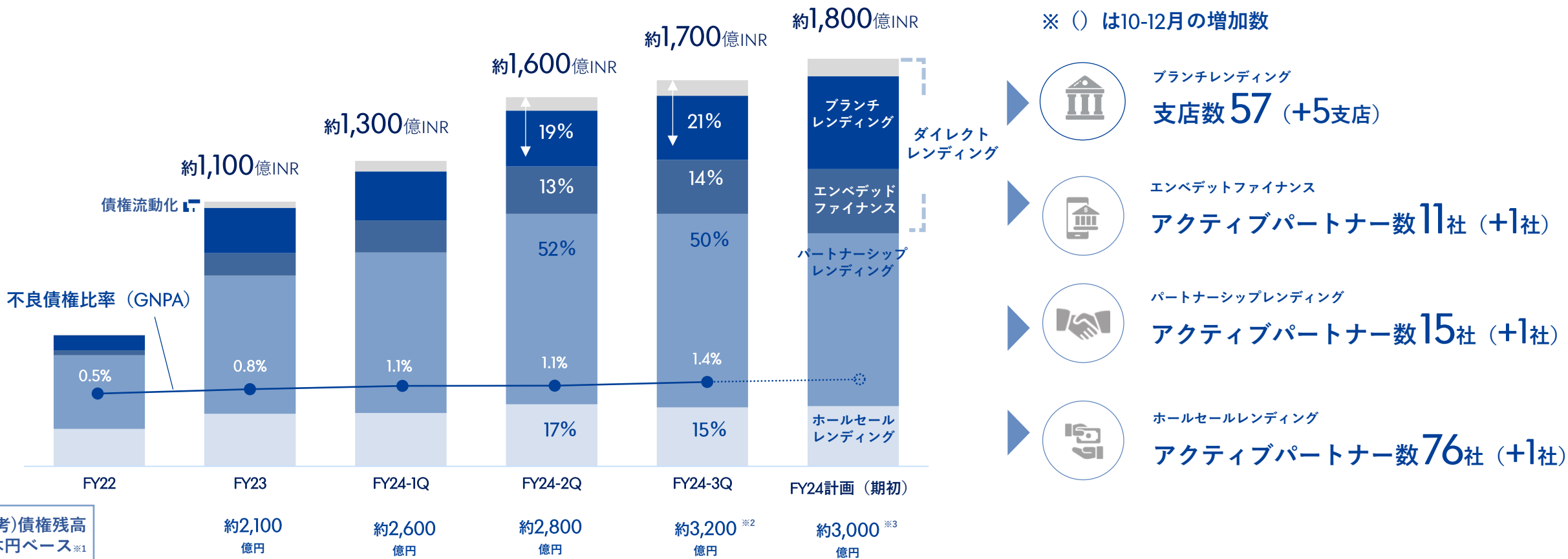
■レンディング事業 ■インベストメント事業

# グローバル事業 Credit Saison Indiaの進捗

- ✓ 変化するマーケット環境の中においても債権残高は着実に拡大
- ✓ 不良債権比率（GNPA）は微増も、リスクコントロールに注力した結果、安定的に推移

## ■債権残高推移

（単位：億インドルピー）



(参考)債権残高 日本円ベース<sup>※1</sup>

(※1)各四半期決算の期末日レートを使用 (※2)2024年12月末時点の期末日レート INR 1.85円 (前期末差+0.03円) (※3)予測レート INR 1.72円

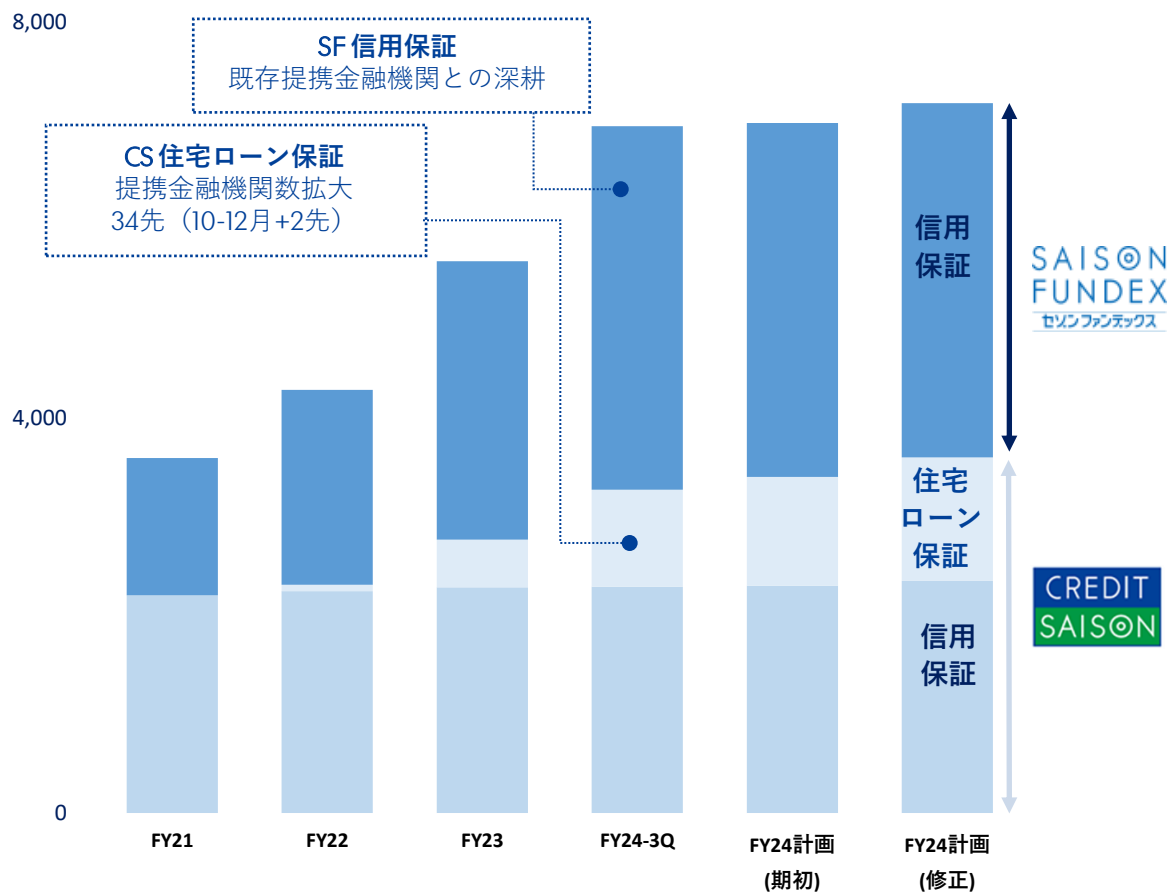
\*債権流動化...Credit Saison Indiaが貸付した債権を銀行などの金融機関へ売却、資産の効率化を図る \*GNPA...担保等考慮前の数値

# ファイナンス事業 主要指標

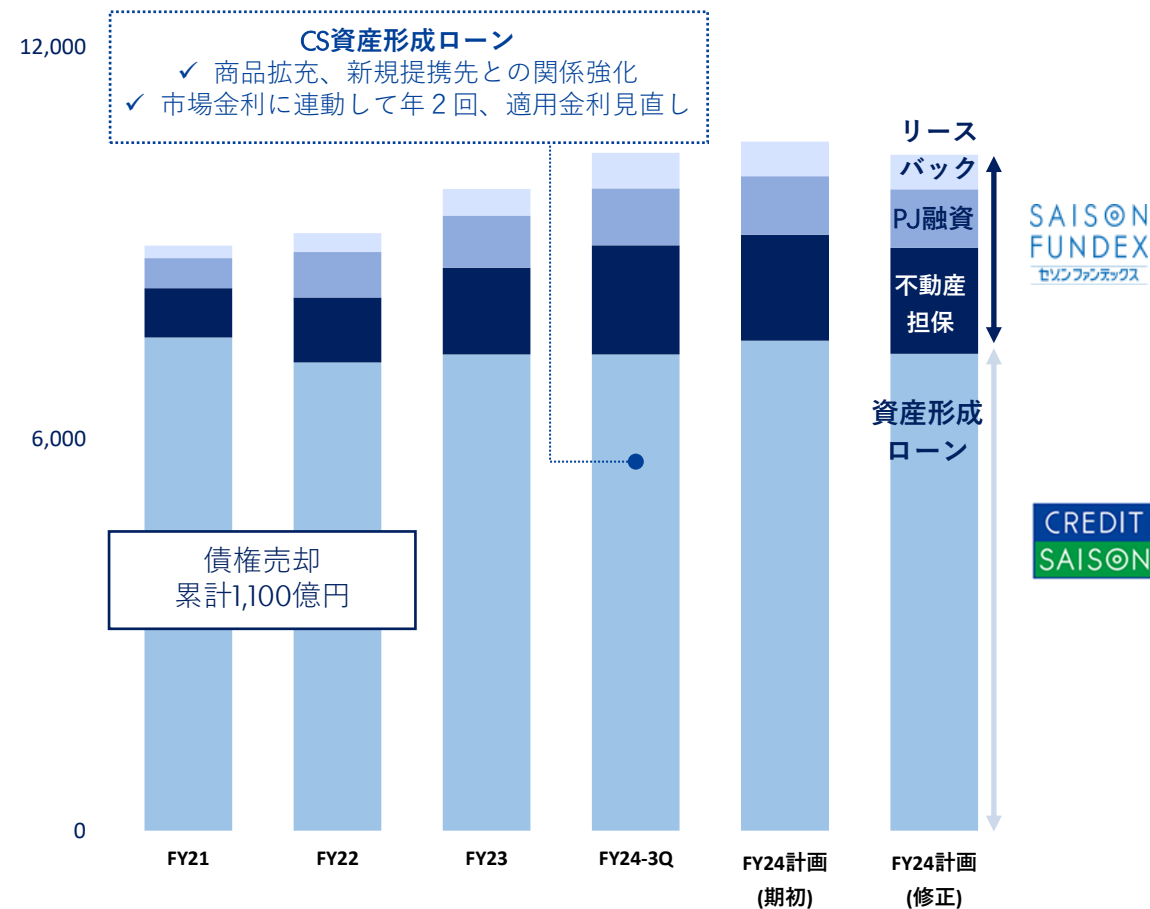
新中期経営計画・重点テーマ

## グループビジネスによる利益の拡大と競争力の向上

■保証ビジネス残高 (億円)



■不動産ファイナンスビジネス残高 (億円)

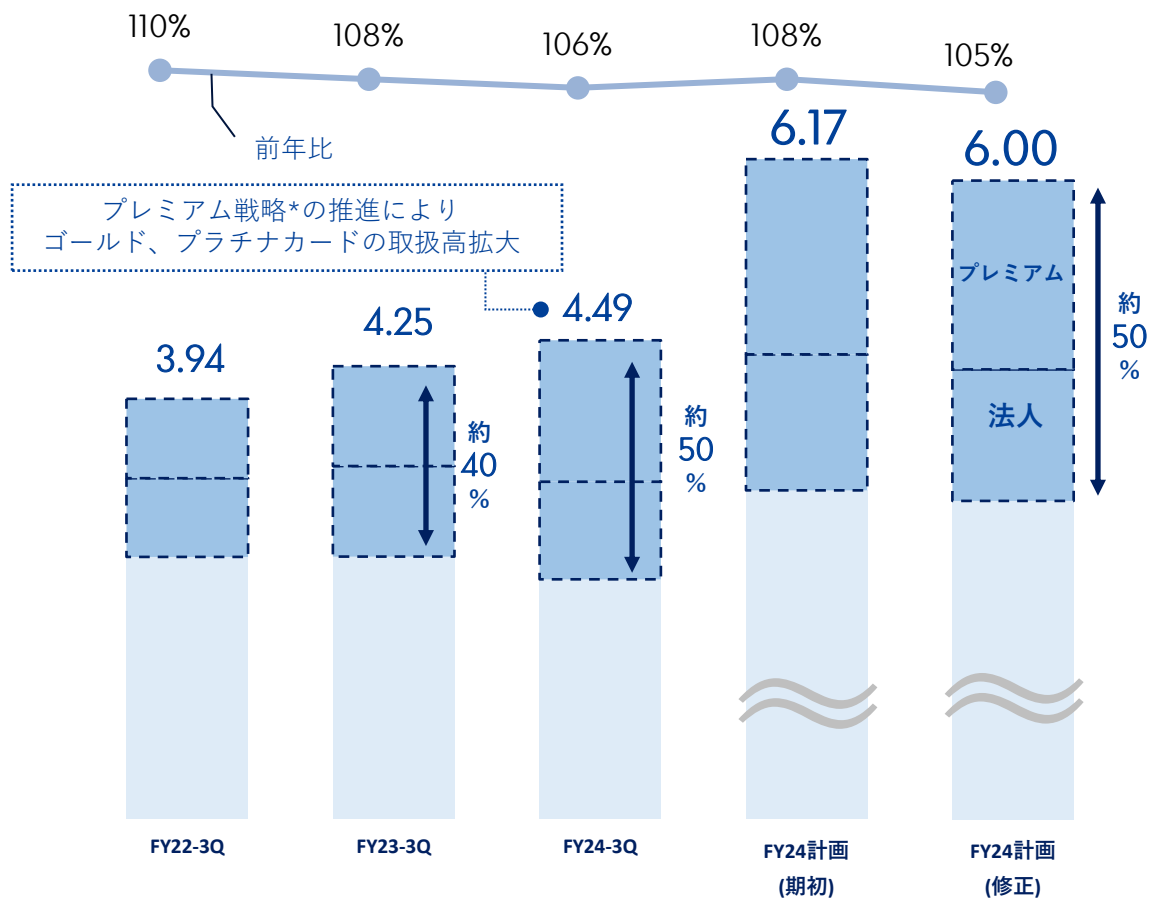


# ペイメント事業 主要指標

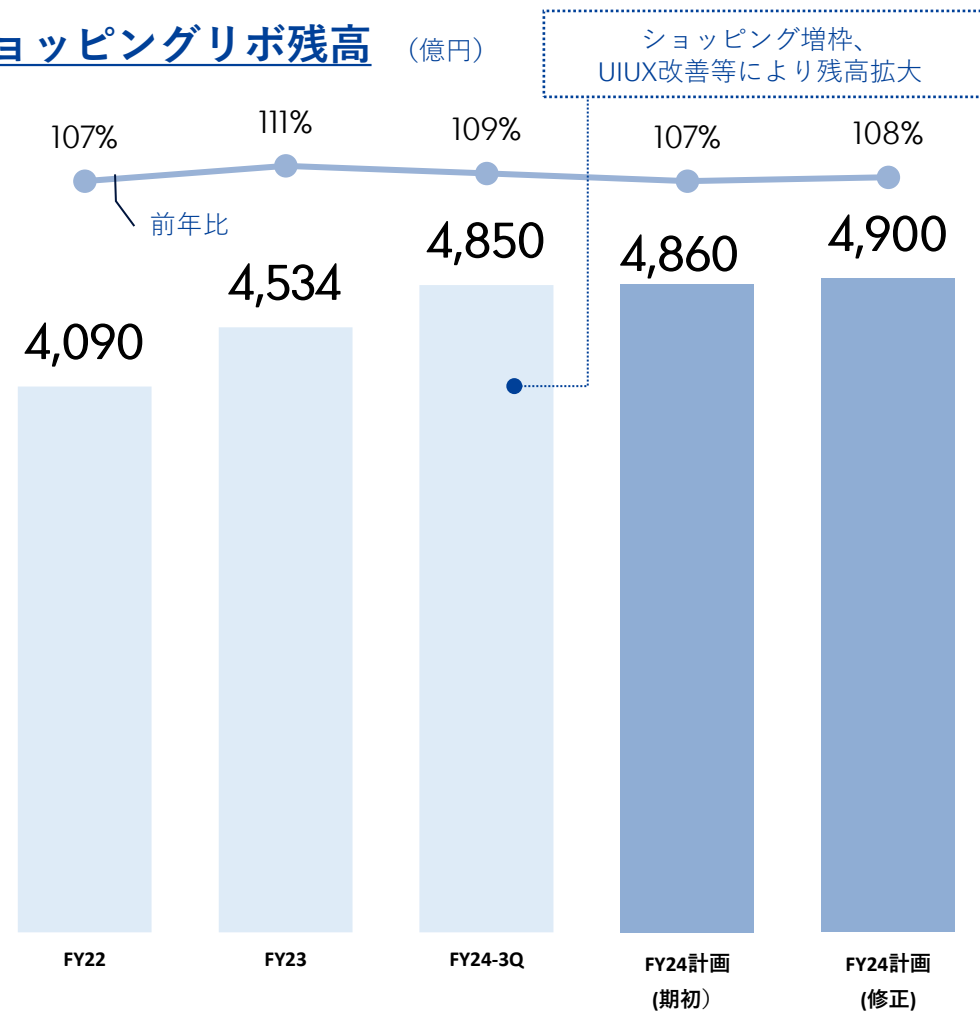
新中期経営計画・重点テーマ

## 収益基盤の強化と利益率の向上

■ショッピング取扱高 (兆円)



■ショッピングリボ残高 (億円)



# 収益性向上に向けた取り組みの進捗

CREDIT SAISON

## ▶▶ アセット収益拡大

24年10月  
開始

### 「あとから分割」サービス

- ✓ ショッピングの1回払い・ボーナス一括払いのご利用分を、あとから「分割払い」に変更いただけるサービスを開始
- ✓ 24年12月中旬以降、サービス対象券種を拡大

利用者は20～30代をメイン層に、従来は1回払いのみであった会員の利用や  
リボへのアップセルにも繋がる

24年11月  
開始

### リボ手数料率の引き上げ

- ✓ セゾンブランドのリボ料率を最大18%へ引き上げ
- ✓ 24年8月顧客案内開始、24年11月引き落とし分から新料率の適用開始
- ✓ 25年度以降、UCブランドのリボ料率引き上げを検討

新料率適用開始後も引き続き顧客離反影響は軽微  
リボ残高は堅調に積み上げ

今後の金利上昇局面における物価上昇、安定的な賃金上昇の定着  
⇒“今”買って“後”で払うニーズが一層高まり、リボ・分割利用が加速することが想定



## 商品性の見直し

ニーズを捉えた付加価値のブラッシュアップによるロイヤリティの向上

- ✓ カード特典の見直し・拡充
- ✓ ALLセゾン会員向けの特別な価値提供
- ✓ グループコンテンツを活用した取り組みの深耕

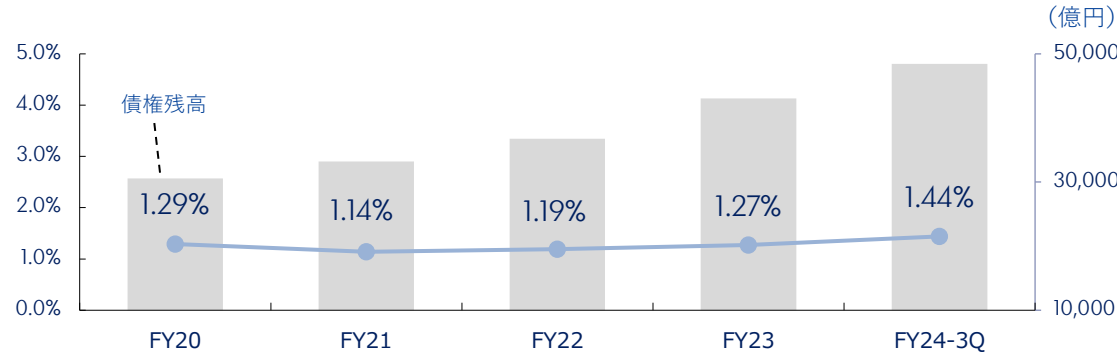
商品性の見直しと並行したサービスに見合った手数料設計の推進

- ✓ 2024年12月 海外でのカード利用時に発生する事務処理経費（マークアップフィー）変更
- ✓ 2024年12月 ご利用明細書発行手数料の改定  
※1通あたり【改定前】110円（税込）→【改定後】330円（税込）
- ✓ 2025年8月 一部カードを対象に、未稼働会員へカードサービス手数料を導入  
※カードサービス手数料：1,650円（税込）・ 2,200円（税込）

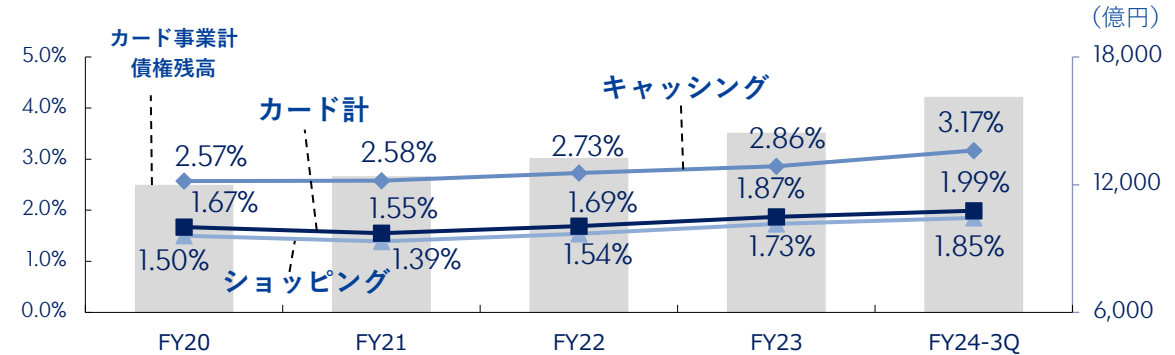
# 債権リスク

✓ コロナ禍に将来の延滞債権等の増加に備えて引き当てた特別引当金を一部取崩し

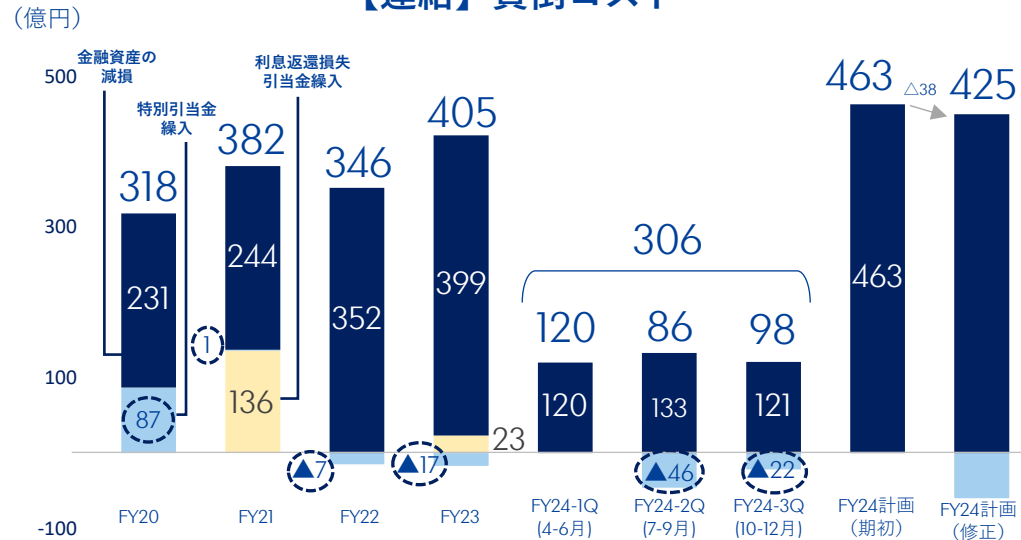
【連結】90日以上延滞率



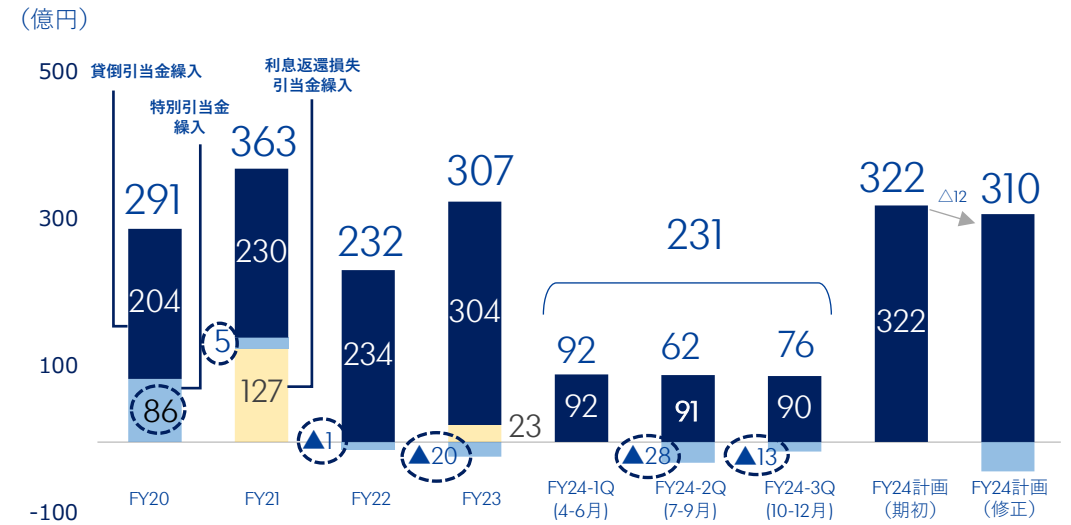
【単体】90日以上延滞率



【連結】貸倒コスト



【単体】貸倒コスト



未入金率や返済猶予債権の状況から、将来の延滞債権等の増加に備えた特別引当金

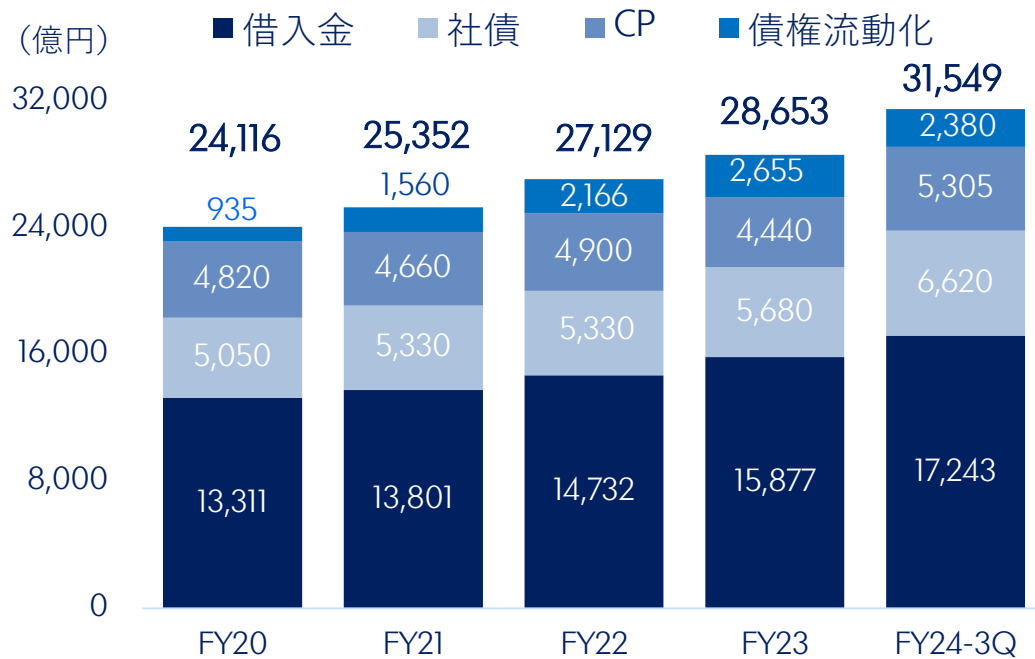
未入金率や返済猶予債権の状況から、将来の延滞債権等の増加に備えた特別引当金

## ■健全な財務基盤について

### 信用格付

- ・ R&I A+ ※1996年10月以降 25年以上継続
- ・ JCR AA- ※2025年1月 新規格付取得

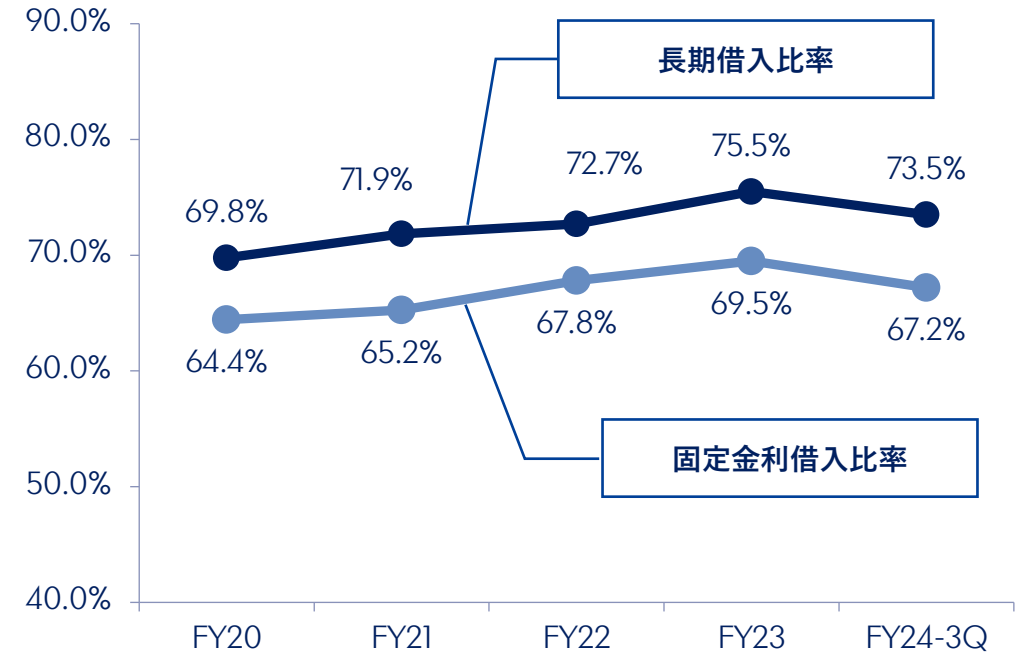
## 【単体】有利子負債残高推移



## ■有利子負債の構造について

- ・ 有利子負債の約7割程度を長期資金で構成
- ・ 固定金利調達は全体の約7割程度で構成
- ・ 流動性補完枠はコミットメントライン等を5,300億円備える

## 【単体】長期・固定借入比率推移



## 免責事項

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報での判断および仮定に基づき予測算定しております。この当社判断や仮定による不確定性および今後の事業運営や経済環境など、内外の状況変化による変動可能性如何によっては、実際の業績などが見通しの数値と異なる可能性があります。

## IR・投資家情報

<https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/>

## 統合レポート2024

[https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/integrated\\_report/](https://corporate.saisoncard.co.jp/ir/integrated_report/)

# < appendix > 連結・事業利益、単体・経常利益の主な増減

Main Increases/Decreases in business profit (consolidated), ordinary profit (non-consolidated)

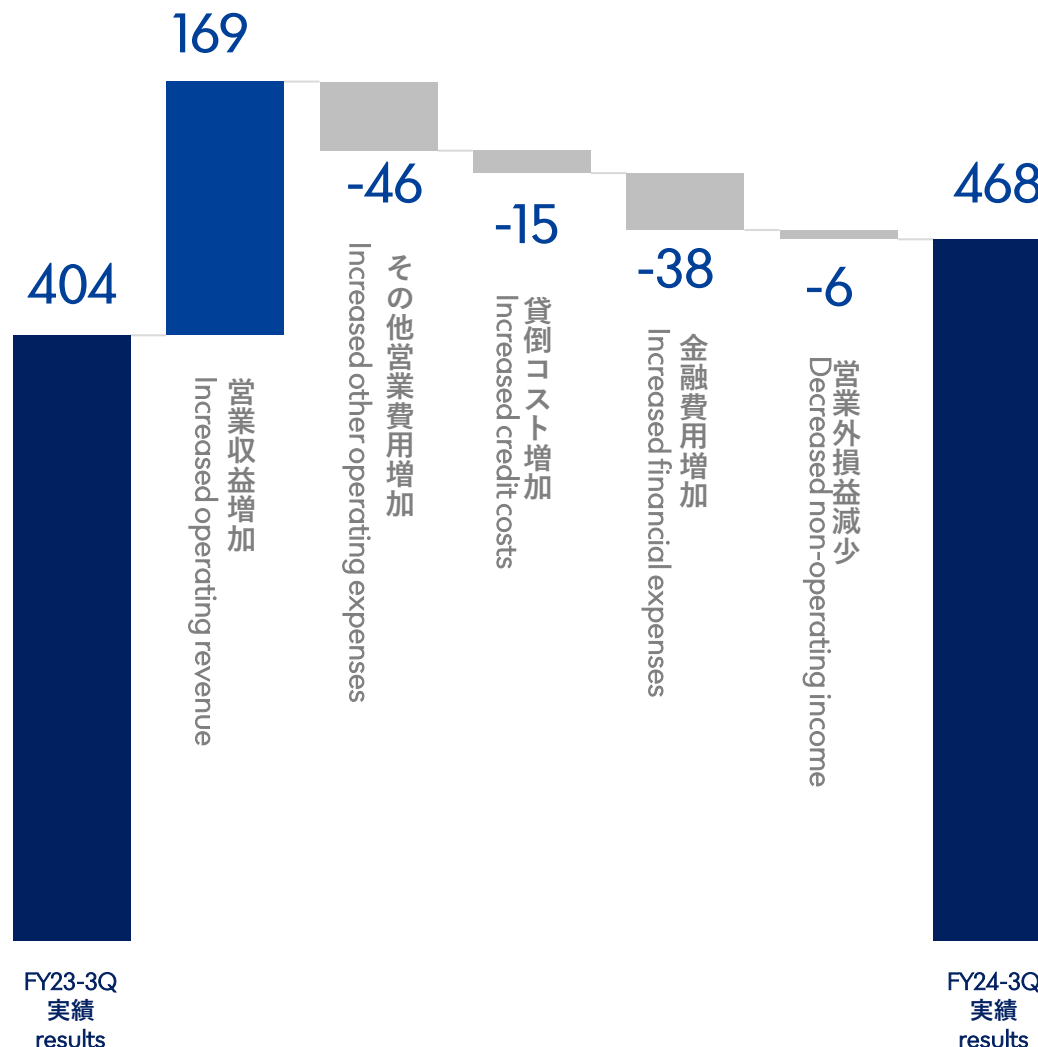
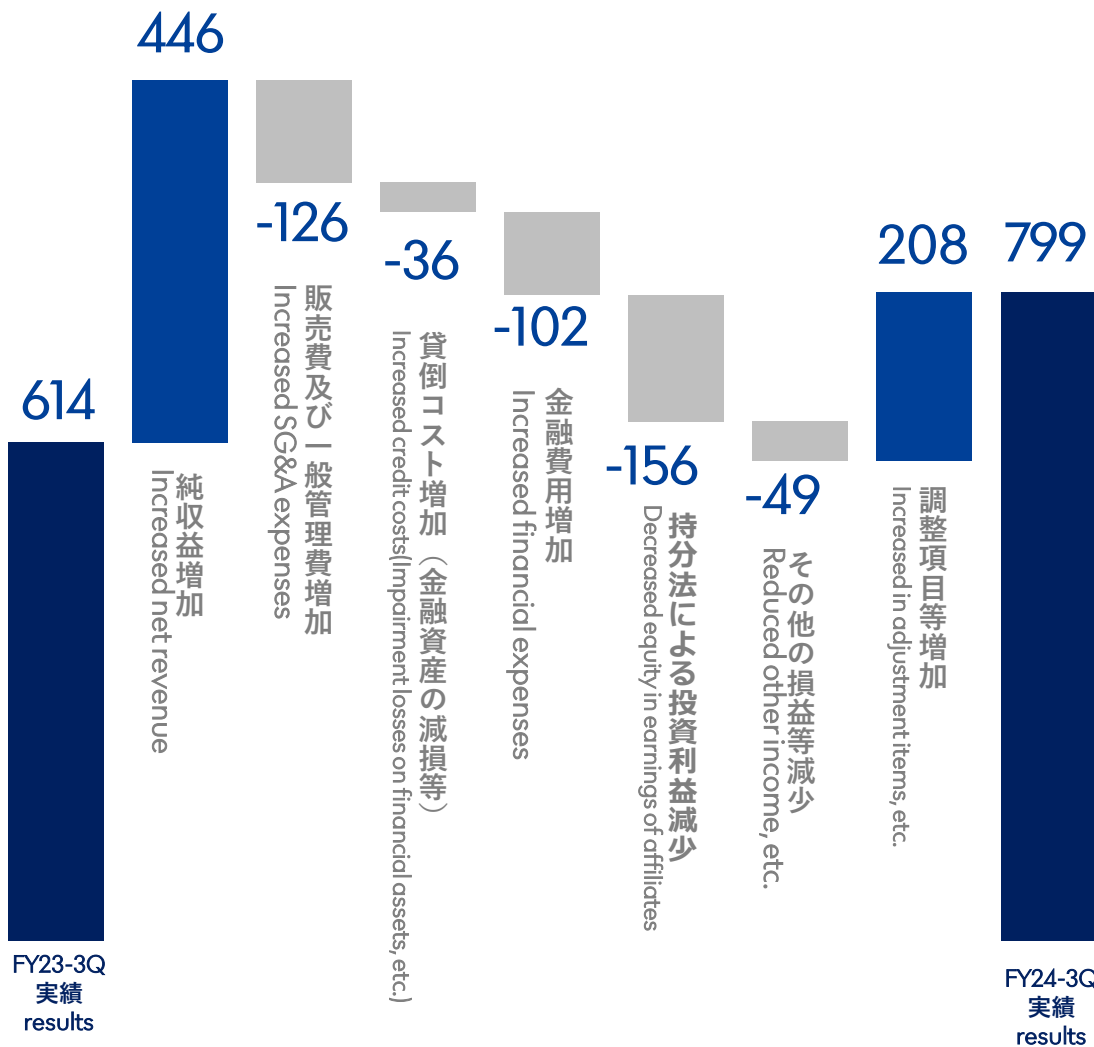
## ■ 連結・事業利益

Business profit (consolidated)

## ■ 単体・経常利益

Ordinary profit (non-consolidated)

(億円 / ¥100 Million)



# < appendix > セグメント別事業利益の推移計画

CREDIT SAISON

(単位：億円)

	FY23 (a)	FY24計画 (期初)	FY24計画 (修正)	FY25計画	FY26計画 (b)	FY23とFY26 計画差(b-a)
ペイメント	192	205	275(+70)	243	289	+97
	会員構造変革による収益基盤の強化と、DX・AIを活用した事業改革					
リース	43	40	40(±0)	40	45	+2
	貸倒コスト増加影響はある一方、既存主力販売店への営業活動強化					
ファイナンス	282	315	315(±0)	338	375	+93
	セゾンファンデックスやスルガ銀行とのグループビジネスの拡大					
不動産関連	164	130	130(±0)	140	75	▲89
	セゾンリアルティの不動産信託受益権売却益の剥落(FY24)、整理事業関連資産売却 (FY25)					
グローバル	24	68	28(△40)	125	200	+176
	Credit Saison Indiaによるダイレクトレンディングの拡大					
エンタテインメント	10	12	12(±0)	14	16	+6
	チケット販売の伸長等によるアミューズメント事業の拡大					
合計*	719	770	800(+30)	900	1,000	+281

\*セグメント間取引含む

# < appendix > 主な事業構成

CREDIT SAISON

セグメント	グローバル事業	ファイナンス事業	ペイメント事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ レンディング（貸付） アンダーサブド層をメインターゲットとした貸付</li> <li>■ インベストメント（投資） Fintech、Web3領域を中心に有望なスタートアップやVCファンドへの投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 信用保証 フリーローン・住宅ローン保証等</li> <li>■ 資産形成ローン 投資用不動産</li> <li>■ 不動産担保ローン 事業用不動産</li> <li>■ フラット35</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ クレジットカード</li> <li>■ プロセッシング クレジットカード事業者などからの業務受託</li> <li>■ 家賃保証</li> </ul>

主な関係会社



セグメント	リース事業	不動産関連事業	エンタテインメント事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ベンダーリース OA機器・厨房機器等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 不動産売買、賃貸</li> <li>■ ホテル事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ チケット販売</li> <li>■ アミューズメント運営</li> </ul>

主な関係会社



# 社外からの評価（一例）

## ■ESG評価

GPIFが採用する6つのESG指数のうち、  
5つの構成銘柄に選定



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2024年  
初選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

## ■IRサイト評価

主要な2つのサイトランキングで  
最優秀賞 & 銅賞をW受賞



2024年  
初選定



## ■DX評価

DX推進の実績が評価され、DX銘柄は2年連続選定

